

第2回 都市づくりのグランドデザイン庁内検討委員会(平成29年5月11日) 議論のまとめ

1 委員長挨拶

会議の冒頭に、委員長（都市整備局技監）から以下のような発言がありました。

- 前回会議以降、各局への意見照会を踏まえ、2040年代に向けた未来感を出せているか、分野横断的な取組となっているかなど、全体のバランスを見ながら、素案として取りまとめた。
- 知事からは、世の中の大きな流れとしてある「ESG（環境・経済・ガバナンス）」の観点を盛り込むこと、緑を守る考え方を大きく打ち出すことと意見があり、本日の議論も踏まえながら、素案に反映させていきたい。

2 議事

1)「都市づくりのグランドデザイン行政計画（素案）」について

都市づくりのグランドデザインの役割、2040年代の社会のイメージ、東京が果たすべき役割、目指すべき新しい都市像、都市づくりの方針と具体的な取組、個別の拠点や地域の将来像、2040年代の将来像の実現に向けた都市づくりについて、前回会議以降、各局への意見照会を踏まえて反映した内容を説明しました。

意見交換では、主に都市づくりの方針と具体的な取組について、現在各局が取り組んでいる施策との関連性や取組の記載の考え方などについての議論を行いました。

2)「今後の進め方」について

事務局から、5月中旬以降を目途に素案を公表し、パブリックコメント等を実施の上、8月頃を目途に策定・公表を進めること、その中で、本委員会を検討段階に応じて実施していくことについて、説明しました。